

平成 28 年度事務事業評価表(一般事業・継続)

No. 322

事務事業名	繁殖牛生産基盤強化事業
-------	-------------

作成日	平成 28 年 9 月 30 日		
部局名	農林水産部		
課名	農業水産課		
課長名	下玉利 輝幸	内線	266
担当者名	開 健一	内線	253

基本目標		活力に満ちた産業のまち
政策	040104	魅力ある農林水産業の振興
施策		畜産業の振興
関連施策		

会計	一般		
款	6	農林水産業費	
項	1	農業費	
目	4	畜産業費	
事業コード	100000	繁殖牛生産基盤強化事業	

事業類型	5	負担金・補助金事業
個別計画		
重点事業		

【PLAN(計画)】

対象(者)	肉用牛繁殖農家		
誰(何)に対して事業を行うか			
意図	高齢牛や不妊牛から、若雌の母牛への更新を促進して、繁殖農家の生産基盤を安定させる。		
対象をどのような状態にしたいか			
事業概要	繁殖雌牛の導入、更新(市場購買もしくは自家保留)に係る経費の一部を補助する。		
意図を達成するために実施することは何か	導入・更新頭数	25頭/年	
	補助金額	10万円/頭	
事業期間	平成 26 年度 ~ 平成 28 年度	実施方法	
根拠法令、要綱等	大村市農林水産振興事業補助金交付要綱		
国・県補助事業に係る本市単独施策			

【DO(実施)】

指標名(上段:名称/下段:算定式等)		単位	25年度	26年度	27年度	28年度	備考
活動指標	①	計画値					
		実績値					
	②	達成度	%				
		計画値					
成果指標	①	年間出荷頭数		300	270	265	
		計画値:繁殖牛飼養頭数 実績値:出荷頭数		228	213	176.0	
	②	達成度	%	76.0%	78.9%	66.4%	
		年間売上額		114	110	129.0	
	③	計画値:繁殖牛飼養頭数×前年度平均売上額 実績値: 出荷頭数 × 対象年度平均売上		93.7	103.4	101.0	
		達成度	%	82.2%	94.0%	78.3%	

年 度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画
① 事業費(千円)	0	2,500	2,500	0	0	0	0	0
国庫支出金								
県支出金								
地方債								
その他								
一般財源		2,500	2,500					
② 人件費(千円)	0	1,134	1,058	0	事業内容	事業内容	事業内容	備考
職員人数(人)		0.15	0.15					
時間外勤務(時間)								
嘱託等人数(人)								
フルコスト(①+②千円)	0	3,634	3,558	0				

※財源内訳中の「その他」には、保険料・寄付金・基金・利用料等の収入を記入しています。

【CHECK(評価)】

事業の進捗状況 昨年度の評価から、どのような取組をしましたか(昨年度の【ACTION】の改善・改革の進捗等)	ここに畜産事業に移行し、優良繁殖雌牛の導入が計画的に行われており、今後の安定経営に繋がる基盤強化が図られている。
事業が抱える問題・課題等	比較的若い農業者や後継者がいる農業者は、増頭に意欲的であるが、後継者がいない農業者や少頭飼いの農業者については、増頭が望めないため、現状維持を図ることが今後の課題である。

妥当性	【必要性】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	【市の関与】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
有効性	【事業成果】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	【施策貢献度】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
効率性	【コスト】	削減の余地なし		削減の余地あり		該当なし	
	【負担割合】	見直しの余地なし		見直しの余地あり		該当なし	

※事業類型が1～3に該当する事業については妥当性及び有効性の評価は記入していません。

【ACTION(改善・改革)】

今後の方向性	前年終了	
--------	------	--

内容 今後の方向性のもとで、どのような取組をするか(課題や問題点等に対する取組など)	
効果 事業の改善・改革によって期待される効果は何か	

1次評価	今後の方向性		2次評価	対象外	今後の方向性	
	終期設定			終期設定		
	意見等		内容			

※1次評価は事業担当課長等、2次評価は2次評価委員会によって行われます。